

# 四ツ谷永寿会会報

令和4年度一7

R. 4-12-3

会長 吉田昌彦

木々は色づき、今年最後の華やかに、7日の**立冬**から暦の上ではもう冬、冬の気配が徐々に増し、温かいものが恋しくなる季節、空気が乾燥してくるので、手洗いやうがいでの予防を!特に新型コロナウイルスが、減少傾向になってきたが、予防の三原則となる、手洗い、うがい、マスクの着用を進めてください。守らなくてはなりません。やっとサークル活動や、いやしのレク、旅を計画中のクラブも多いと考えますが、数字を見る限りでは安心出来ません。ワクチン接種も5回を迎え、自らの防衛を心に、8波が叫ばれ出したが、油断をすることなく基本の「三密」防止を実行しましょう。



## 1、長寿の祝いについて(追伸)

去る10月22日(土) 10時より、例年にならい米寿(2名)傘寿(5名)の方々のお祝いを行いました。昨年同様に宴はコロナの影響で行うことは出来ませんが、お祝いと記念品、記念撮影で感謝のお礼を述べさせていただきました。おめでとうございます。



## 2、日老連主催の活動について

### ☆2-1 第一回日老連主催グラウンドゴルフ(個人戦)大会開催について

去る11月9日(水)浅川グランドにて、58名が参加して行われました。四ツ谷永寿会からも4名が参加し、**天野進**さんが(第6位)入賞しました。おめでとうございます。

### ☆2-2 高齢者作品展の開催について

来る、**11月25日(金)より12月1日(木)まで**市民会館小ホールにて、開催されます。日頃の熟練された写真、作品、趣味の手芸等が展覧されます。是非とも会場まで足を運んで鑑賞、観覧して下さい。

サークル活動の皆さんがお待ちいたしております。

### ☆2-3 グラウンドゴルフ東京都大会に出場決定!!

来る12月22日(木)稲城市中央公園総合グラウンドにて我がクラブが選抜。日野市の代表として、普段のチームワークで頑張ってくることを期待しています。結果は、次回の会報でお知らせいたします。

## 3、北部地区主催の活動について

### ☆3-1 第6回ボウリング大会について

去る、4年11月17日(木) SAP日野ボウリング場にて、第6回ボウリング大会が行われ、四ツ谷永寿会の石川良子さんが20名参加者の第5位。大変おめでとうございます。

### ☆3-2 第6回カラオケ大会について

来る、**4年12月7日(水)市民会館小ホール**にて、第6回カラオケ大会が開催されます。四ツ谷永寿会からも日頃ののど自慢ご披露者多数有り。開場:**9時30分**~現地に出向き声掛けし応援して下さい。お待ちしております。

## 4、サークル紹介について

### ☆防犯パトロール隊

いつもの所に集し、いつものメンバーで行動する。当たり前のことであるが、私たちのメンバーの目的は、学童の帰宅の見回りと、昼間帯に留守がちな住宅の監視が主です。諸先輩たちの築かれてきた長い伝統を守り、継続させなくてはなりません。パトロール途中家々の花や、木々の変化にも興味があり、柿やみかん等の生り物や皇帝ダリヤの美しさ等格別の楽しさです。又、清流の日野という事の実感で、水路や多摩川の自然にも心打たれる順路です。

2022年11月8日の大天体ショー  
442年ぶりの天王星食、次は322年後



天王星没入直前

F6.9 露光1' 推定 600mm  
ISO3200 Pモード 露出補正+1/3  
MF セルフタイマー使用 20:20





パトロール隊は、1班5名づつ行っています。2班編成で週1回づつ行います。巡回途中の“いっぷく”も暑い夏は涼気を吸い、体のいやしにもなる、日野宮神社境内です。今後も、地域を守り、子供たちの安全、安心を手助け出来るパトロールを遂行していく決意です。

出発地；**四ツ谷地区センター**（14時頃）⇒途中休憩⇒帰着；**四ツ谷地区センター**  
 時間；**午後2時～3時30分ごろ** 隊員数；10名

※年に一度反省会を兼ね懇親会を行っています。 防犯パトロール隊 吉田昌彦



## 5、“鰻の放談”

5-1 ♪特攻キーボード作戦♪(音楽“3”以上だった者読むべからず!) No.32

\*いつになったらグランドピアノ？…好之者不如楽之者だよねー “毎日がフィナーレ”

### (く) 歌うピアノファツィオリ(下上)

暫く休めたので、フル充電完了です。世の中は、遂にクリスマスモードに成って参りました。そこで、クリスマスツリーの話から入りましょう。スペースが無くなる内に、言いたい事を述べさせて下さい。起源は、イエスキリストの降誕祭“クリスマス”に飾られる木です。

日本では、クリスマスツリーという**と松科モミ属の樅**が主流ですが、欧州でクリスマスツリーとして使われる木は、一般的には**松科トウヒ属の唐檜(トウヒ)**等と言われています。老人会に入れられて、ブランク労働で毛が薄くなってしまった頭皮とは関係ありません。英語名は、**スプルース(spruce)**です。DIYで売っている板材は、この名前になってます。変種となる北海道のものを**エゾマツ**と呼びます。一方、樅は、暖地性で、本州(秋田県以南)、四国、九州(日本特産種)に多いのです。唐檜は、寒地性で、日本でも本州中央部と北海道に隔離分布する。本州では、山地の1500m以上に生える。しばしば、遠くから見ると区別が付かないので、文学の世界では、混同されている様です。要するに、身近にある針葉樹を使っているに過ぎない…。実際、欧州では、高地とか北欧の方は**トウヒ**が主流となり、平地や南欧の方は、樅が主流となっている様です。

ピアノにかかわる人間として注目すべきは、この**トウヒ**こそが、ピアノの響板の唯一の材料なのです。響板とは、ケースの底に貼ってある音色を決定づける最重要パーツです。響板は響かせるための板であると同時に、ある意味では響かせないための板でもあるのです。とりわけ**松科トウヒ属**が響板材として珍重されるのは、これらの樹種が**高い倍音をより効果的に吸収して、まるやかに感じられる高さの音のみを豊かに響かせる特性**があるためです。古くなって割れたりすると70万円以上、中古買うときは先ずは最重要優先チェック項目です。安物は本当にベニヤ板です。響板の超最高のもは、唯一**フィエンメ峡谷**に産するのです。何処にあるか講釈致しますと。観光用語では、広域地名**チロル**地方東南部、北緯46度、標高1000m。日本だと、ロシア不当占拠の樺太南端の**コルコフ**、日本名大泊(アイヌ語ボロノマリ)と同緯度です。勿論国は、イタリア、第二の河川409kmの**アディジェ川**を遡ります。日本最長の**信濃川**でも367kmなので、相当な大河です。更に、支流の**アヴィーシオ川**に入り、上流のオーストリア国境迄70kmの地点です。この辺まで来ると、もう川幅も**秋川**に毛が生えた程度になってます。こうして見ると、イタリアは思ったよりも広いと分かります。長靴の入り口部分の仏からオーストリア国境迄、幅は540kmもあるんです。東京-大阪がすっぽりです。

さて、ここ**フィエンメ峡谷**は、もう殆どアルプス山脈の真只中です。ファツィオリの工房のある**サチレ**からは、北西に100km。そもそもこの地区は、ノルディックスキーの国際大会開催場所としても知られている。1991年、2003年、2013年にノルディックスキー世界選手権が開催された。要するに、寒冷地なのです。当然の事ながら、ファツィオリのピアノには、地の利で全て、**フィエンメ峡谷産の赤トウヒ(レッドスプルース)**が使用されています。最近では、供給量も限られて、ヴァイオリン、チェロ等の他の弦楽器や家具材との争奪戦が有り、ヤマハ、カワイ等も北海道のエゾマツを使ったり、北米産(シカスプルース)を転用したり大変な様です。更に、**地球温暖化**で生育が速くなり木目が荒くなり、響きが悪化して来ているそうです。響板にするには、柁目(まさめ;丸太の中心を通って製材)に切り出さなければならず、一本の原木からは、いくらかも取れません。一般に響板は、掌巾のこの板を斜めに20~30枚を並べて、横に膠で圧着します。次に側板の形に切り抜いた後、響棒を接着します。響板の振動をさらに伝えるのと、クラウンと言って、レスポンスと響きを向上させるため、弦側の中央部分を約1cm程膨らませて、**ソリ**を生成せる為です。ヴァイオリンやチェロ等も中央部分が膨らんでいるのと同じです。響板は、製作が終わってから2年間、空気管理された倉庫で熟成されます。

さて、ファツィオリの響板の特徴の一つは、普通の響板の厚さ(一枚の板)は大体10mmほどですが、これを三層構造にした(ファツィオリの特許)と言う事です。響板をそのまま三層にすると厚くなり過ぎるので、1枚の響板を薄くして特に三層の真ん中の響板は0.6mmにして上下の響板と直角にすることで響板全体の強度を増し、古くなくても従来のように響板の割れや隙間が空くのを防げるようになっています。その結果として響板の強度が増したことでクラウンも安定し、従来に増して良く鳴り、音も良く伸びるようになりました。

最近、風当たりの強い楽器の材料が、又やり玉に。絶滅危惧植物ブラジルの**ペルナンブコ(ブラジルの木)**は、ヴァイオリン、チェロ等の弦楽器の弓の柄、ワントン条約締結国会議で、国際取引規制強化されました。ペルナンブコはブラジル原産のマメ科の常緑高木です。ペルナンブコ(ブラジルの木)の意。国名はこの木から名付けられた!)と生物学的な違いはありませんが、赤道近くの東部ブラジルに位置するペルナンブコ州でとれる材木が最も高級であるため、通常区別して**ペルナンブコ**と呼ばれています。同州は大西洋岸の地域で、ペルナンブコは海岸から100キロまでの地域で土壌と気候の条件が整ったところのみに生息しています。木材は、工業製品と違って、生育環境によって、薪にしかならない悪材が最高品になったりするので。 倉岡 裕 記

## 6、会員の異動報告 2022年11月19日現在

無し

## 7、次回の役員会

令和4年12月24日(土) 9:30~ 以上

